

第2回 中山町公共施設再配置計画策定審議会

日 時：令和7年3月7日（金）10時～
場 所：中山町中央公民館 第2研修室

議 事 概 要

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 協 議（報 告）

(1) 第1回審議会の議事概要公表について 資料1
質疑なし。

(2) 事業の進捗状況について 資料2
質疑なし。

(3) 住民ワークショップについて 資料3～資料6

【富樫委員】気になるキーワードとしては、中高生の居場所がないという話が出たので、そういうことだとすると、中山町の高校生はほぼ電車で通学しているということもあるので、駅というのは1つのポイントなのかなという風に感じました。例えば、山形県内では最近長井市が、駅と市庁舎が一緒になっていたりとか、その脇にすごい複合施設ができたりとか、駅を中心にぎわいを見出そうとしている市が出てきているので、中山町についても、駅が1つのポイントになるのかなと感じました。

【田澤講師】話を聞いていてすごく切なくなつたのが、山形市内の高校に通っている子たちが、おしゃべりしながら電車に乗って帰つてくるのですが、中山町の駅で降りてしまつたら、もうそこでおしゃべりが終わつてしまふ。そこで、イオンモール天童でおしゃべりし尽くしてから帰つてくるというような、すごく不思議な時間・空間の過ごし方をしていて、まさに今仰つていただいたとおり、駅そのものや周辺施設がそういう機能を果たして、居場所さえあればおしゃべりも続くし、具体的なアクティビティにつながるようなきっかけも生まれると思います。そういう機会を逸し続けているのかなと思うと、非常にもつたいないと思うので、そこも是非計画に反映させていただきたいと思いました。

【池田委員】長年ボランティアをしており、その中で居場所づくりに似たようなことは何回かやってきました。ただ、その中で住民のお話を聞いていると、いろんな話が出るのですが、とにかく行政に頼るということがすごく多いと感じています。自主性が足りない。要するに、私みたいに行政に突っ込んでいくような人がほとんどいない。だからその辺が遅れている原因かなと思います。

【田澤講師】今の意見非常に貴重だなと思って伺つていたのですが、要は集まる空間だけあってもダメだという話だと思います。まさにその高校生もおしゃべりが盛り上がつたからすぐ何かできるかというと、多分そうではなくて、じゃあ一緒にやろうよっていう、おんぶに抱っこではなくて、手をつないでくれる大人とか行政の方がいると、ぐつと前に進むと思います。けれども、今はそういう場面もないですし、空間があるので、じゃあどうぞ使ってくださいというだけに留まつているのかなと思うと、やはり

ハード整備だけではなくて、ソフトの運営面も一緒に考えていかないと、ご指摘いた
だいたような雰囲気って変わらないのかなと思います。

【渡部委員】ご報告ありがとうございました。今皆さんから出た意見に重なるのですが、私も駅というより鉄道というか、公共交通が大事だなと思いました。車がないと何もできないというようなご意見が多いという話もありましたが、やはり鉄道を使うと、いろんなサービスを手に入れられるというところは大きなメリットですし、そういう意味での結節点「駅」というのはすごく大事だということと、大きく言った時の機能分担じゃないですけども、中山町にないものと周辺にあるもの、うまく中山町だと取れるというそういうことをしっかりと、今までお話出てきていますけども大事かなと改めて思ったところです。あと、能動的にというところもすごく大事だと思ったのですが、この議論の中でどうしてもハードとソフトって言うと、再配置の話なので、ハードが主でソフトが従になりがちだと思うのですが、まとめていただいたとおり、自ら行動できるような支援があれば、ハードのボリュームを減らしていくことなので、そのこととセットで考えていくことはすごく大事だなという風に改めて思いました。

【太田委員】私は、中山町でスポーツ少年団やスポーツ協会等で活動していますが、先ほど池田さんが言われたようなことをずっと感じていました。中山町民はなかなか自分の意見を言えないところがあるので、今回、田澤先生にはすごいボリュームの話を聞いていただいて、すごく嬉しく思っております。また、その中で、長井駅の話もでましたが、この中山町、狭いゆえにどこへでも行けますが、狭いゆえに、歩く距離が短い。例えば、この中央公民館から長崎駅まで800mないぐらいだと思いますけども、それでも遠いっていう感覚が町民の中にはある。そんな中で、長井駅のようになれば、いろんな人が集まるコミュニティもできるのではないかなど、いい話を聞かせていただいたなと思います。

【濱委員】この中央公民館は、50数年前にはすごくニーズに合ったものをつくれていた。しかもそれで住民のアクションも起きていたということで、すごく示唆的だなと思いました。なので、これから新しい公共施設を作るにあたって、おそらく建築建物のハードも常に更新をしていく必要があるだろうと思います。その際に、それがハード的な更新なのか、ソフト利用方法の更新なのかは分からないですけれども、建築の利用についても手入れしなければいけないのだなというのがはっきり分かって、すごく面白い話を聞かせていただきました。そういうところをかつてはここでちゃんとできていたということで、そういうものも計画の中に入れていけると面白いのかなと思います。

(4) 職員ワークショップについて 資料7

【富樫委員】今、山形中山道路ということで、すごく大きな幹線道路の整備が進められています。あとは、駅が1つのポイントではないかと先ほど私の主觀で申しましたが、そういうところがあって、今回のこの再配置計画の中では、そういう112号の新たなバイパスとその中心となる部分のアクセス、そういう部分をしっかりとつなげていく必要があるのではないかと思います。駅とか鉄道とか、それだけではなくて、中山町にもすごい道路ができますので、そういうところと結ぶアクセスもしっかりと頭に入れながら、再配置の計画を進めていくといいのかなと感じました。

【後藤委員】職員の中で出された現状と課題というところで、職員の皆様、大変お忙しいので、担い手の不足を感じているということがあるかと思います。今後この公共施設再配置を考えていく上で、例えば、複数の施設を1つにまとめるなんていうことを考えると、職員を同じ場所に集めることができて、兼務というか、今の業務だけでなく複

数の業務をこなすことができ、同じ業務を少人数の職員で回せるようになり、それによって住民サービスの向上につながるというようなことも検討できるものなのでしょうか。

【事務局】今職員を配置している事務所機能を持つ施設は3か所で、役場と中央公民館と保健福祉センターとなっており、各施設の管理業務はそれぞれの事務所にいる職員が担当しています。もし1か所に集約されれば、施設管理に携わる職員も少なくて済むかもしれませんし、今後は維持管理自体も役場職員ではなく、管理会社に任せるという方式も検討されると思います。先ほど富樫委員からもありましたけども。112号が新しくなりますが、併せて458号も整備を進めていただいておりまして、国道2本が目覚ましく良くなっていることが見込まれます。今の姿ではなくて、10年後20年後にどうなっているかということを見据えながら皆様からご意見をいただきたいと思います。

【渡部委員】ご説明いただいた資料5ページの「改善方法の整理」というところについて質問です。先ほどのワークショップのご報告や皆さんのご意見を踏まえると、施設の整備や改修により改善できることだけに再配置の考え方を絞っているように見えるのですが、もう少し広く構えておかないといけないのかなという気もしましたが、いかがでしょうか。

【事務局】今から施設を建設しようとしても、おそらく5年以上はかかるかと思います。今回いただいた課題は、施設を建てなければ改善できないものだけではないと思いますので、そういったものは、なるべく早く解決したいと思っています。新しい施設ができるまでの間にサービス向上するべきところは担当課の方にも全てフィードバックしていきます。その中で、新しい施設の中でソフトもハードも併せて改善しなければいけないということを、最終的にこの計画にまとめていきたいと考えております。

(5) 石子沢川流域水害対策計画（案）について 資料8

【渡部委員】浸水想定区域というのは、いろんな条件で絵面にかけますけども、過去の浸水で河川が閉塞して氾濫するという状況はあると思いますが、仮に閉塞して氾濫しても結局は低いところに水が行くので、氾濫域は同じになると考えてよろしいですか。

【今野委員】例えば石子沢川が閉塞して溢れたら、水は低いところに行くのですが、最上川が溢れると堤防が決壊するので、そうなるとL2になりますが、一般的には低いところに流れます。

【渡部委員】特定都市河川に指定されると、施設整備に対する補助金があるという理解でよろしいですか。

【今野委員】施設建設のお金というよりも、その下に地下貯留施設をつくる際に補助が出るとか、防災拠点を作ると建物の方にも出るとか、様々なものがあるので、今後注視していきたいと思っています。

【渡部委員】地下貯留施設に対する補助は、どのようなものでも対象となるのか。もしかすると、施設整備費全体が膨らんで、補助があっても結局そんなに大きくメリットがないということも起こり得るのではないかですか。

【今野委員】そういうこともあり得ると思います。そこはもう少し具体化したときに、整理したいと思います。

【渡部委員】最上堰には蓋があるのでしょうか。

【今野委員】中山町の部分に関しては、雨水排水を入れるために、水が入ってくるような形になっています。

【渡部委員】心配だったのは、蓋が無いところも閉塞する可能性があるのではないかということです。森林の整備ということも書いてありますけれども、土砂災害について

の話も結構重要なと思いました。

【今野委員】中山町は民有林が多く、どうしても耕作放棄地等もあるので、その辺も色々と関連するところと協力していきたいと思っております。

(6) その他

① 新たな「土砂災害が発生するそれのある箇所」について 追加資料

【富樫委員】来年度には、盛土規制法の区域設定がなされる予定ですので、そこら辺も土砂災害と併せて考えなければならないと思います。流域水害対策計画だけでなく、横並びでいろんな計画の最新のものが出てくる中で、この公共施設再配置計画を進めていくことになるのだなと感じました。

② 県及び総合支庁のバックアップについて

【富樫委員】立地適正化計画も公共施設再配置計画も中山町が長期的に健全に存続していくためには重要な計画になると思います。立地適正化計画の見直しに関して、村山総合支庁も本庁の支援を受けながら、しっかりとバックアップをしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

③ 審議会の公開について

【事務局】当審議会は、基本的には公開とさせていただきます。今後は、傍聴や取材等の希望があった場合には、受け入れる予定です。

4. その他

5. 閉 会